

## 組合員さんのお宅の男女共同参画事情

### 子育て世代

授乳・おむつ替え、食事(離乳食)づくり、食事のお世話、着替え、歯みがき、保育園・幼稚園の準備、送り迎え、連絡ノート、子どもと遊ぶ、トイレトレーニング、検診、予防接種、買い物、洗濯、掃除など

最も子どもに関わる時間が多くなるこの時期、ママ1人きりですべてをこなすのは到底無理。パパもワークライフバランスを上手にとり、積極的に子育てに関わりたいたいですね。

岐阜県が発行する父子手帳



こんなとき、もっと手伝って!

子どもがグズグズときは手伝ってほしい。(神戸町 岡田さん)

子どもを抱っこしながらのゴミ捨て。重いのに…。(多治見市 りょんママさん)

子ども2人がグズっているとき、家にいるなら、どちらか1人は面倒をみてほしい。(大垣市 あっつんさん)



妻から夫へ

「疲れてるみたいだから手伝うよ!」と気遣ってくれるので、とてもありがたいです。また、何かと「ありがとう」という言葉をくれるので、私もがんばれます。(笠松町 やすう〜さん)

毎日遅くまで仕事をがんばってくれている上、土日は子どもの世話も積極的に手伝ってくれて、イクメンパパです。(高山市 ゆうママさん)



夫から妻へ

ときどき2人の子どもを1人でみることにすると、育児をしながら家事をこなしているのはすごいな、と実感する。(美濃加茂市 なつあかねさんの夫)

毎日お弁当をつくってくれて、食事も野菜中心にしたりと身体のことを考えたメニュー。ありがたく思っています。(羽島市 きよんさんの夫)

### 育ち盛り世代

家庭訪問、授業参観、地域の活動(子ども会、旗当番、見守り)、スポーツ少年団・部活動当番、PTA・子ども会役員、塾・習い事の送り迎え、お弁当づくり、炊事、買い物、洗濯、掃除など

子どもが大きくなってきて、仕事を再開する女性も増えてくる時期。子どもが大きくなったからといって、家事や子育ての負担が減るわけではありません! 男性にも大いに家事に関わってほしい時期です。

こんなとき、もっと手伝って!

外出から疲れて帰ってきたとき「ご飯まだ?」といわれるとグッたりします。昼食くらい用意してくれると助かります。(瑞浪市 デコデコ母さん)

朝の出勤前、洗濯、茶碗洗いなどをしているのに、後からゆっくり起きてきてくつろいでいるとき。(神戸町 ポッキーナさん)

寝込んでいるときは、看病してほしい。「大丈夫?」と、心配して声をかけてくれるだけでも…。(関市 かとひろさん)



妻から夫へ

子ども3人を1時間かけて、お風呂に入れてくれています。大変だけど1番楽しい時間だといってくれます。土日には洗濯や、お風呂洗い、布団あげなど、知らないうちに済ませてくれているので本当に助かります。(美濃市 ハッピーツインズさん)

休日には子どもとたくさん遊んでくれます。子どものよさこぶ顔を見ると、がんばってくれているなど思っています。(可児市 のんママさん)



夫から妻へ

女性は休みがなく、大変だと思う。(美濃市 てるさんの夫)

毎日、平和に穏やかにさせるようにやってくれている。毎日、弁当をつくってくれたり、ご飯を作ってくれたり感謝している。(各務原市 ピースさんの夫)

### 夫婦2人の世代 食事づくり、家の手入れ、地域の活動、掃除、洗濯など



子育てを通じて培ってきた地域とのつながりを活かし、女性はいきいきと地域で活動しています。男性もいきいきと過ごせるよう、地域活動に大いに参加したいですね。お互いに気持ちよく暮らすため、家事の分担も不可欠です。



妻から夫へ

夫は手を出しすぎるタイプなので、「手伝って」とお願いするまで我慢してほしい。(瑞浪市 ためちゃんさん)

愚痴ひとつ言わず、40年余り仕事を続けてくれたことに感謝です。息子はお父さんが自分たちにしてくれたことを、子どもにしてあげたいと思っているようです。(可児市 はらんぼさん)

どんなに辛いことがあっても、家族のために働いてくれて、ありがとうございます。(多治見市 PARAさん)



夫から妻へ

気持ちよく仕事にいけるよう、毎朝玄関でハグをしてくれる。(高山市 ひなさんの夫)

毎日の食事、つくってもらって感謝、感謝ですよ。(富加町 ガキさんの夫)

いつもニコニコ明るく笑って、私の話を聞いてくれてありがとう。(高山市 フタちゃんの夫)



いつも手作りのサンドイッチやおにぎりを持って近くの公園へ出かけます。(高山市 ハルアサママさん)



家族そろって旅行、楽しいね!(一宮市 ユカリンさん)

### 共働き世帯の増加

統計によると1997年から「共働き世帯」が「男性雇用者と無業の妻から成る世帯」を上回るようになりました。岐阜県にいたっては、50.9%が共働き世帯となっており、全国平均の45.4%を上回っています。(総務省「2012年就業構造基本調査」より)

### 男性の家事、育児への参加

一方、日本では6歳未満の子どもの持つ夫の家事・育児の参加が、1日あたり67分と少ないようです。男性のワークライフバランスの実現は、家族にとっても重要です。

### 男女ともにいきいきくらすために

男女がお互いに尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮するためには、男女のどちらかに負担が偏ることなく、家庭内での分業を工夫し、相手への思いやりと感謝の気持ちを持って過ごす努力が大切です。

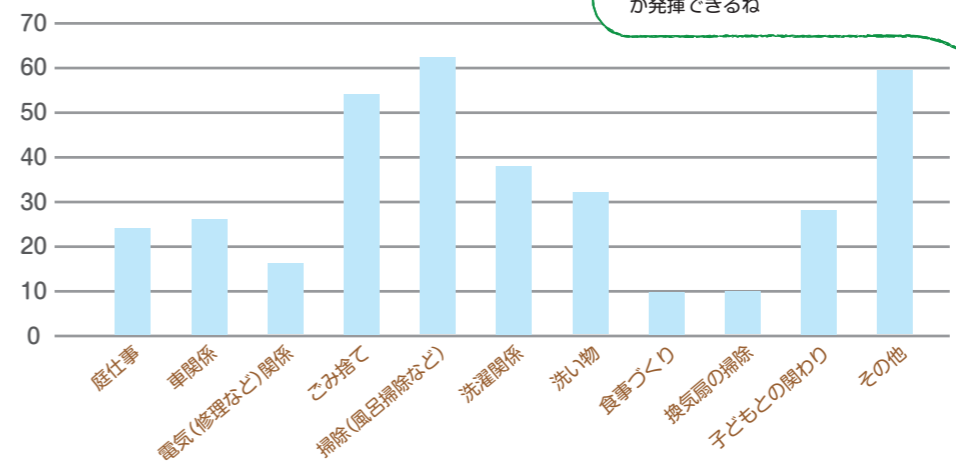
### DEKO モニター 138 名に聞きました。

夫と妻、家事の割合は? 妻:夫 (年代別平均)

年代	妻の言い分		夫の言い分	
	妻	夫	妻	夫
20代	妻7	夫3	妻6	夫4
30代	妻8.2	夫1.8	妻7	夫3
40代	妻8	夫2	妻8.3	夫1.7
50代	妻8.5	夫1.5	妻8	夫2
60代	妻8.3	夫1.7	妻7.7	夫2.3
70代以上	妻10		妻10	

妻が思っている以上に、夫は「自分は家事をしている」と感じているようです。家庭での役割について、夫婦でコミュニケーションを取ることも大切です。

### 家庭での夫の役割



いろいろな場面で「男性の力(パパチカラ)」が発揮できるね



お休みの日にパパと公園で(神戸町 岡田さん)

巻頭特集

6月23日〜6月29日は男女共同参画週間  
女性も男性もいきいきと共にくらす

過去には、「男は仕事・女は家庭」といったことや、時には「男は仕事・女は家庭」といった役割分担が当たり前のように言われた時代がありました。しかし、最近は男女を問わず、仕事も家庭生活も充実した社会生活を送るために、ワークライフバランスの重要性が叫ばれています。家庭内の家事・育児・介護といった場面での「男性の力(パパチカラ)」についていっしょに考えてみませんか?